

うちゅうせん新聞

広報係 2015年3月21日(土)発行 3号

☆ 天文ボランティア会報 ☆

“例会”より

12月13日(土)15:00~17:00 出席者10名

会場:仙台市民活動サポートセンター会議室

終了後に忘年会が予定されているため、例年通り市街地中心部での開催でした。

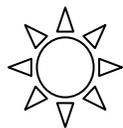
観望会活動では2014年11月29日に市天文台で有志で開催したサポート観望会の話があった程度で、今年度末までの観望会予定が無いため、議題ではなく仙台の街並みの変遷を中心とした思い出話で盛り上がりました。また、打上げ予定が変更された話題となった「はやぶさ2」のパブリックビューイングが角田宇宙センターであり、その様子が報告されました。

1月24日(土)14:00~16:00 出席者6名

天文台まつり1/31、2/1天体観測会、太陽を見る会などの催しを行う。

うちゅうせんとしての参加は、今年は見送りとした。…今回は一般ゲストでの参加を!

全体会の場所時間等決定
観望会の予定、無し



2月21日(土)14:00~16:00 出席者11名

年度締めくくりを前に仙台市天文台との覚え書きによる協力依頼が、天文台側よりありました。

全体会の議題、アンケートについて

えぼし観望会について、今年も5月から10月まで予定されている。(満月を避けており昨年より回数は少ない) 場所時間等決定

観望会予定 5/26水の森キャンプ場



仙台市天文台は2/1に開台60周年を迎えました。当日は天文台まつりで記念セレモニーも実施されました。これまでの実績を将来に生かすべく、うちゅうせんも連携に取り組みしましょう。

星の雑談箱①

☆~月齢マラソンのすすめ~

「月齢マラソン」って知っていますか?月齢28全てを撮影しながら、SNS(私の場合はFacebook)上へひたすらアップ!し続けるエンドレスな観望スタイルです。もちろん、毎日晴れるわけではないので「完走」まで早くて2~3ヶ月かそれ以上かかるかもしれません。撮った写真はネットワーク上へ書込み、さらにコメントを加えます。デジタル時代だからこそ可能になったスタイル(?)で、あきつばい私も目下、記録更新中です。

なお、効用は下記の通り。

- ① 月をキレイに撮ろうと努力するため、撮影スキルが上達する(⇒ピンボケは減る!)
- ② 月を追いつけることにより、日々の天体の動きにより敏感になり、月の面白さにハマる。
- ③ 月ばかりでなく、近づく惑星や季節の天体も気になるようになり、空を眺める機会がますます増える!といいことだらけです。工作中でも、空に月をつい探そうになったり、新しい機材が以前より気になってしまふことが唯デメリットですが…。まずはお試しあれ!(渡辺 2)

星の雑談箱②

★京都千年天文学街道参加★

昨年の9月京都大学総合博物館の特別展「明月記と最新宇宙像」で公開されていた、鎌倉時代の歌人藤原定家の日記 国宝「明月記」の実物(超新星の記録が記載されている箇所)を見学しました。その日は博物館を見るだけではつまらないので、京都千年天文学街道の「明月記特別コース」に参加しました。参加人数は23名、やたら歴史に詳しいガイド2名。集合場所は地下鉄今出川駅、そこから徒歩で藤原定家の子孫である冷泉家を外観から見学。道路に面した門の上には「玄武」の瓦がありびっくりしました。また徒歩で移動し広い相国寺にある藤原定家のお墓参り(隣に足利義政のお墓)その後市バスにて京都大学総合博物館に行き天文博士によるイヤホンガイド。陰陽師・安倍晴明一族の天体観測で超新星出現記録が世界的に素晴らしい天文学への貢献だったことを学んだ1日でした。(伊川)

☆多船・長・雑・感(うちゅうせん代表 永井秀男)

間もなく一年間の締めくくり「全体会」です。時間の経過を速く感じるのは歳をとった勢・と思われるが、実際のところはどうかだろうか?

活動のメイン観望会の1年を振り返り、以前に比べ依頼される回数が減っている?の思いだったのでホームページに掲載の「活動の記録」から比較して見たら結果は…?

年度別の実施観望会

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014
回数	39	30	18	27	21	30

大震災の2011年は依頼される回数が激減したが、止むを得ない結果でしょう。

それ以前は、東松島市教育委員会からの依頼で市内全10小学校の一泊行事の一環で、毎年6回の依頼がありました。会場の松島自然の家が津波で全壊し、以後、矢本西小からの依頼のみになったのは記憶に新しいところです。

その後、2012:27・2013:21回と少なかったところから思い違いが有った様で、2014年の30回は以前並に戻ったと言う事だったのでした。但し、えぼしスキー場からの依頼分が大半でそれ以外の7回はチョット考えさせられる状況です。

観望会に参加可能の人数が10人そこそこである状況を踏まえると、回数が増えても負担が大きくなり過ぎたら…などと言う思いもよぎります。

仙台市天文台からベガ号の依頼に応じられない時の対応を打診されている事から、若干の依頼増も?などと捕らぬ狸の何とやらも踏まえた上で、回数も今ぐらいがいいのかも知れません。来るものは拒まず!お断りはしない・は今まで通りを踏襲したいところです。

例会の状況は全体会の資料に記載していますが、2013/4から2014/2までの例会11回の延べ参加者は96名、1回平均8.7名が全15名に対し、多いか少ないかは意見の分かれるところですが、これとてたかがボランティアグループの例会の事。現役の皆さんにとって優先順位は各人各様のはず、例会にしても観望会にしても無理をしてまでの参加は不要と思います。無理が通れば道理引つ込む・ですから(笑)されどボランティアでも有ることも念頭に置いて頂けたらと…

旧天文台で実施されていた「ボランティア養成講座」が無くなって久しいですが、現在実施されている「スタッフサポーター養成講座」で天文ボランティアうちゅうせんの紹介をして頂ける・との事です。スタッフサポーターをしながらうちゅうせんにも乗り組む・と言う方が出て来られたらいいですね!(現在1名いらっしゃいますが)

2015年も楽しくやりましょう。

◆ 編集後記 ◆

◆ 小学校時代に毎月読んでいた学研の科学を思い出し大人の科学のプラネタリウムを買いました。一冊を十分楽しもうと考え購入から、読書(所有?)、製作、完成(使用)それぞれのシーンでゆっくり進めていこうと考えています。家が狭くたくさん物を増やしたくないため一つをゆっくりと…いつになったらプラネタリウムが完成するのか? (G1)

◆ 撮った写真をひたすらFacebook上にアップし続ける「月齢マラソン」をはじめて早半年!最近コメント英文併記にもチャレンジしています。体重は減らないマラソンですが…。 (G2)

◆ 先日伊丹空港から帰って来る飛行機の窓から月齢11の月が見え、地上で見ている月と同じ大きさに見え驚きました。

雲の上のほうより月が近く大きさが増すかと…百聞は一見に如かずですかね。(伊)

◆ 2/24に東北学院大学主催・情報科学シンポジウム「宇宙科学データアーカイブと情報科学 ~人工衛星のデータが手元に届くまで~」を聴講しました。X線を放射する天体や月等の人工衛星観測データ取得とその公開化に対する取り組みについてエピソードを交えながら紹介していました。機会があればアーカイブ化された観測データを活用していきたいです。(今)

◆ 年末に新婚旅行で沖縄に行ってきました。初めての沖縄で、色々楽しみにはしていたのですが、その中の一つに、恋い焦がれる「カノープス」の観望がありました。

奥さんにもその話をし、初日に一緒に図書館に行って、カノープスについて調べると、沖縄地方では楽に見られるとのこと。

見つけ方も確認して、いざホテルへ!! ただ、南中時刻が薄いと夜中らしく、時々起き出して、ホテルのバルコニーに出ては、空を見上げたのですが…

残念ながら、三日間とも曇天で月もろくに見えず、オリオン座も発見できず…

第1回カノープスツアーは失敗に終わりました。でも、また沖縄に行きたいと思う理由ができ、今後が楽しみです。(椿)

